

地質 ニュース

昭和 59 年 1 月

第 353 号

1 9 8 4

年 頭 所 感	陶 山 淳 治	6
アトラス作成システム GATLAS について	西 矢 伸 小 花 村 津 野 澤 川 岡 田 祐 雄 克 尚 泰 宏 司 策 敏 郎 之 章 治	7
東南アジアの花崗岩と錫鉱床を訪ねて	佐 藤 興 平	20
粘土質試料のノルム計算 (N88 BASIC プログラム)	五 十 嵐 俊 雄	37
菊間石油地下備蓄実証プラント (その 2)	星 野 一 男	48
ケニア オルカリア地熱地帯	金 原 啓 司	63
地質標本館だより「花崗岩の解剖」	服 部 仁 笹 田 政 克	73
学会掲示板	企 画 室	79
地学と切手	P. Q.	19
国縫 KUNNUI	石 田 正 夫	80

口 絵

地熱情報のカラー・グラフィックス

SIGMA グループ

編集 地質調査所

発行 株式会社 実業公報社

表紙の写真

コンピュータ・グラフィックスによる関東地方の立体地質図

西 祐 司・浦 井 稔

関東地方の地質と標高のデータを地質調査所の地熱情報データベース・システム / SIGMA で処理し カラー・プロッタを用いて立体的に表現した図である。網目機軸が地形を表わし その上の色が地質を表わす。垂直/水平の縮尺比は15倍である。

このような視覚的表現により 地形と地質との関係が従来の地質図よりわかりやすくなっている。このようにコンピュータを用いた新しいデータの表現法を用いることにより データの持つ様々な情報を より容易かつ直感的に把握できる。時には今まで見落していた新しい事実を発見することもありうる。特に 複数のデータを総合的・効率的に解析していく場合に このようなデータ表現手法は非常に有効である。

本図の地質データは「日本地質アトラス」(地質調査所 1982)の100万分の1地質図をデジタル化したものである。また 標高データは 国土地理院の国土数値情報の標高データを1km間隔の格子データに変換したものである。

2月号予定目次

ESR 年代測定法の現状と将来

地質のコンピュータ処理

もう一つのヘリウムとメタン

ハロドロフラクチュアリングとマグマフラクチュアリング

ケニア リフトバレー(2)

結晶のはなし